令和６年度豊明市スポーツ推進計画審議会会議録要旨

日時　令和７年３月２６日（水）
　　　午後３時から午後４時
場所　豊明市商工会館１階　イベントホール

出席委員：石川会長、山田副会長、緒方委員、円城寺委員、水上委員、岩井委員、
　　　　　原委員、浅井委員
事務局：相羽生涯学習課長、青木生涯学習課長補佐、大澤

１．あいさつ
各委員自己紹介、事務局自己紹介

２．議　題
（１）スポーツ推進計画の進捗状況について
令和６年度の実績報告及び進捗状況を資料に基づき説明

【質疑・意見等】

①【委員】駅前などにスポーツ施設ができると色々な方々が通えてとても便利になると思います。例えば前後駅の銀行が撤退した跡地などに。
また、イベントへ向かう移動手段に問題を抱えている地域の方や世代の方も大変多いため、この辺りの対応方法はどのように考えているでしょうか。

→【事務局】現状、公共施設を縮減する方向性にあるので、新規のスポーツ施設を増やすというのは大変に難しいです。
また、イベントへの移動手段は事務局としても課題として認識しており、例えば長寿課が市の事業と判断すればマイクロバス等を出庫させるサービスをやっていたりしますが十分ではないかと思いますので、今後、市役所全体で協議し対応方法を模索していきます。

②【委員】以前、その日にあるスポーツイベントが一目みてわかるスポーツカレンダーの作成を提案しましたが、進捗状況はいかがでしょうか。

→【事務局】当課が主管するイベントに関してのカレンダーは存在していますが、全課となるとまだ至っていません。また、ホームページの構成上、委員が想定する形とすることが難しいですが、ＳＮＳの登録者を増加させ登録者向けに発信するような方法であれば可能かと考えますので、検証を進めます。

③【委員】今後、部活動の地域移行が進み、小学校の部活はほぼなくなるという情報もあります。推進計画の課題でもある「子どものスポーツへの関心向上、習慣化」の低下がより顕著となっていくことにもなり得るため、なにか代替となるものが出来る予定を出して欲しいです。

→【事務局】非常に憂慮すべき状態ではありますが、現在代替となるものの予定はありません。協議は進めていきたいと思います。

④【委員】学校は体育館があったり、グラウンドがあったりと地域の方に一番身近なスポーツ施設であると考えています。事務局としては学校の活用方法についてどのように考えているでしょうか。

→【事務局】事務局としても有用な施設であると認識をしており、学校の体育館やグラウンドを利用希望者に向けて開放する事業も展開しております。ただ、既存団体の利用がほとんどのため、気軽に地元の方々が利用できるようにしていけるような方向性の事業展開をしていきたいと考えています。

⑤【委員】目標数値にスポーツ表彰件数がありますが、これを狙って伸ばしていくことは大変難しいと思う。市として良い選手を育てるプログラムなどがあればやっていけるとは思いますが、今のところそういったものはないと認識しています。

→【事務局】指定管理者により、スポーツ選手を招き、子どもたちに向けて指導をいただくといったプログラムはありますが、十分なものでないと認識しています。課題として受け止めます。

（２）その他

山田副会長からスポーツ推進委員としてスポーツ推進計画の目標を達成するために令和６年度にどのような活動を行ってきたか報告がありました。

以上